

さよならをもう一度 (1961)

GOODBYE AGAIN
AIMEZ-VOUS BRAHMS?

メディア 映画
ジャンル ドラマ ロマン스
製作国 フランス／アメリカ
色彩 B&W
時間 120分
初公開日 1961/10/25
公開情報 U A
映倫 G
リバイバル 1994/06 [ヘラルド]

【解説】

平凡な生活の中にある女性の幸福を描いた恋愛ドラマ。F・サガンの小説『ブラームスはお好き』の映画化で、監督のリトヴァク自らのプロダクションでフランスで撮影された。トラック販売会社の重役ロジェ（モンタン）と5年越しのつき合いの室内装飾家のポーラ（バーグマン）は、なぜか未だに結婚に踏みきれないでいる。ロジェには他にも遊び相手がいるようで気を揉むポーラだが、互いに束縛しないという不文律が二人の間にあるため、あからさまに嫉妬を表にも出せない。そんな時、ロジェから紹介された取引先のアメリカ人の一人息子フィリップ（パーキンス）の若い情熱にほだされ、彼との同棲生活に入るのだが……。だいぶダラダラとしたメロドラマだが、母性本能をくすぐる青年の一途さをパーキンスがよく表現し、フラれて雨の中を一人立ちつくす場面などは実に絵になっている。原作題通り、ブラームスの交響曲第三番、第三楽章の甘美なメロディが様々なアレンジで効果的に場面を繋いでゆく。

【クレジット】

監督	アナトール・リトヴァク	Anatole Litvak	
製作	アナトール・リトヴァク	Anatole Litvak	
原作	フランソワーズ・サガン	Francoise Sagan	
脚本	サミュエル・テイラー	Samuel Taylor	
撮影	アルマン・ティラール	Armand Thirard	
編集	バート・ベイツ	Bert Bates	
音楽	ジョルジュ・オーリック	Georges Auric	
出演	イングリッド・バーグマン	Ingrid Bergman	ポーラ・テシア
	イヴ・モンタン	Yves Montand	ロジェ・デマレ
	アンソニー・パーキンス	Anthony Perkins	フィリップ・ヴァン・デル・ベシュ
	ジェシー・ロイス・ランディス	Jessie Royce Landis	ヴァン・デル・ベシュ夫人
	ピエール・デュクス	Pierre Dux	ルシアン・フルーリー
	ジャッキー・レイ	Jackie Lane	最初の娘
	ジーン・クラーク	Jean Clarke	二番目の娘
	ミシェール・メルシエ	Michele Mercier	三番目の娘
	アリソン・レガット	Alison Leggatt	アリス
	ユタ・テーガー	Uta Taeger	ギャビー
	デヴィッド・ホーン	David Horne	

ピーター・ブル

Peter Bull

アンドレ・ランドール

Andre Randall

ダイアン・キャロル

Diahann Carroll